

この度の被害にあわれたみなさまに、心よりお見舞い申し上げます

# 水害後の家屋への適切な対応

## 床下を確認する(床はがし)

床下浸水でも必ず確認することをお勧めします

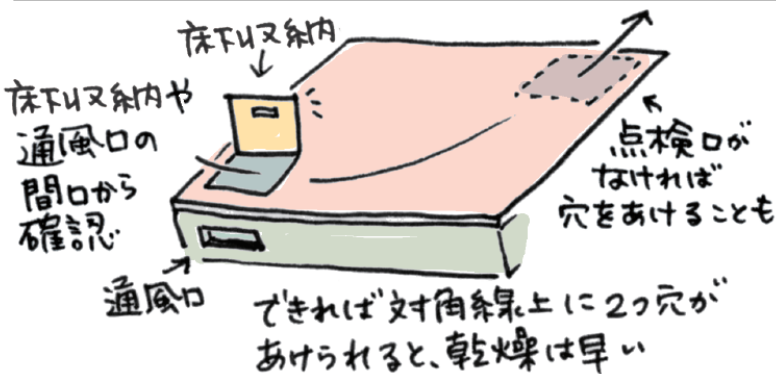
### 【和室の場合】

- ・畳の下にある板をはがず
- ・板は無垢材なら洗浄して陰干しすれば再利用可能
- ・どの部屋の何番目なのかしるしをつけてから外す



### ★特に注意すること

- ・サッシや敷居の下に潜り込んでいる板は無理に外さない
- ・一部切断する場合は、根太の中心で切ると再利用可能
- ・根太は切らない、どうしても切る場合は、大引きの中心で切る



### 【洋室の場合】

- ・床下収納、点検口を開ける
- ・床下に水や泥があれば除去
- ・点検口などが無い場合は、工務店などで作ってもらう(相場は2~3万円)

### ★特に注意すること

- ・自分で点検口をつくる際は正方形に(一辺60cm未満で)開ける
- ・貼り合わせのフローリングは長持ちしない可能性が高い
- ・もぐって作業する場合は、換気に注意し、必ず複数名で行う



フローリングの床下の確認

# 壁材を撤去する

浸水ラインより

20~30cm上まで撤去する

## 【石膏ボードの場合】

- ・カッター等で切れ目を入れて剥がす
- ・半分以上濡れていたら一枚全部廃棄する
- ・濡れていないボードは残す

## 【土壁の場合】

- ・再度土壁にする際は、その土が利用できる  
→小舞(内側の格子状の細い骨組み)は残す
- ・貫(45cm間隔ほどで組まれている骨組み)は基本残す
- ・石膏ボードにする場合は、小舞は撤去する

## 【断熱材の対応】

- ・グラスウール(わた状のもの)は廃棄する
- ・スタイロフォーム(スチロール板状のもの)は洗えば使える場合もあり



## ココも忘れずに 通風口の見えない基礎の確認

この部分に泥等が詰まっていると、  
床下の空気が滞留する

床下がプール状態のことも

# 消毒する

まずは洗浄が重要、泥をおとしましょう

有機物(泥など)が付着している状態での消毒は効果が下がります  
家の構造物は泥を落として(洗い流して)から消毒します

## 主な消毒方法について(出典:厚労省「浸水した家屋の感染症対策」)

薬液の濃度や用法など消毒薬は、薄めて(希釈して)使用するものがあります。  
使用上の注意事項を確認してから使用しましょう

- 汚染の程度がひどい場合、長時間浸水していた場合は、できるだけ次亜塩素酸ナトリウムを使用する。
- 対象物が、色あせ、腐食などにより次亜塩素酸ナトリウムが使用できない場合は、アルコール、塩化ベンザルコニウムを使用する。

消毒薬	対象と使い方	
	食器類・流し台・浴槽	家具類・床
<b>次亜塩素酸ナトリウム</b> (家庭用塩素系漂白剤でも可)	<b>0.02%に希釈する</b> ①食器用洗剤と水で洗う。 ②希釈した消毒液に5分間漬けるか、消毒薬を含ませた布で拭き、その後、水洗い・水拭きする。 ③よく乾燥させる。	<b>0.1%に希釈する</b> ①泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ②調整した液を浸した布などでよく拭く。 ③金属面や木面など色あせが気になる場所は、水で2度拭きする。
<b>消毒用アルコール</b>	<b>希釈せず、原液のまま使用する</b> ①洗剤と水で洗う。 ②アルコールを含ませた布で拭く。 ※70%以上のアルコール濃度のものを使用すること ※火気のあるところでは使用しない	<b>希釈せず、原液のまま使用する</b> ①泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ②アルコールを含ませた布で拭く。 ※70%以上のアルコール濃度のものを使用すること ※火気のあるところでは使用しない
<b>10%塩化ベンザルコニウム</b> (逆性石けん)	<b>0.1%に希釈する</b> ①泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ②調整した液を浸した布などでよく拭く。	<b>0.1%に希釈する</b> ①泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ②調整した液を浸した布などでよく拭く。

参考：日本環境感染学会 一般家屋における洪水・浸水など水害時の衛生対策と消毒方法

## 【消毒方法】

★噴霧する(消毒用アルコール・ベンザルコニウム溶液)

噴霧器や霧吹きで吹き付ける

→基礎や拭くことが困難な箇所

★拭く(雑巾などで)

ベンザルコニウム溶液を布に浸して固く絞り、拭き上げる

→木の部分、手が届く部分

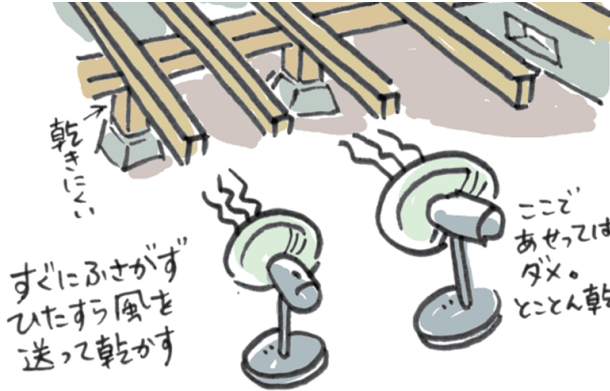


必ずマスク等の保護具を着用してください

# 乾燥させる

# 家の大敵は「湿気」です

洗浄、消毒のあとは、徹底的な乾燥が必要になります  
乾燥には**1ヵ月以上かける**つもりで、十分に乾かします



できるだけ外気を床下に送り込むようにしましょう  
湿った空気が留まらないように、空気を動かします

## カビ対策 お住いのカビ対策、対応方法などを紹介

# 水害後にカビの発生しやすい場所

- ・カラーボックスなど、木材を圧縮してあるもの
- ・システムキッチン(特に壁に接している背面の壁側の板)
- ・合材板(ベニヤ板、コンパネ)
- ・石膏ボードの裏側  
※これらは交換・廃棄をお勧めします
- ・水分(湿気)の多い場所
- ・風通しの悪い場所



# カビの発生条件

- ・温度
- ・**湿度**
- ・栄養(カビが繁殖しやすい成分)

【カビ対策の極意】 ・とにかく換気 とことん**乾かす**